

製品・サービスの信頼と革新

TOYO TIREのSDGs (2030年のあるべき姿)

- 技術の高機能化により、多様な人々の社会参加を可能にするモビリティの普及に貢献する。
- 製品・技術の高付加価値化を追求し続け、モビリティの進化に貢献する。
- 技術イノベーションにより、気候変動による影響が生じた社会への適応、あるいは影響の緩和を目指すモビリティ業界の取り組みに貢献する。
- 資源活用の最適化、および製品耐久性の向上により、地球上の持続可能な資源循環に貢献する。
- 製品使用時の安全啓発活動や整備技術の向上支援により、安心安全なモビリティ社会の実現に貢献する。

優先的に取り組むべき課題

- 徹底した顧客志向に基づく製品品質の確保
- 気候変動への適応、緩和への取り組み
- 技術系人材の育成

優先的に取り組むべきと考える理由 (機会とリスク)

TOYO TIREは、事業環境において気候変動へ対応する製品・サービスへの需要増加や規制の強化、当社グループの製品・サービスの普及エリアのグローバル化、消費者の多様化などが将来的にさらに進むことを想定しています。そうした事業環境の変化に対応するため、次世代モビリティ社会のニーズを満たす製品・サービスの開発・提供、そのための技術開発・材料開発の強化、品質向上、顧客ニーズに対応し続ける人材の育成を優先的に取り組むべき課題と位置づけています。

2019年度の重要な取り組み

- IoTを活用した品質保証システムの構築
- ドライブシミュレーターを用いた安全啓発活動
- タイヤ開発プロセスの高度化(T-MODE)

マネジメント手法

方針

TOYO TIREは、「高い品質と安全性を有し、社会に役立つ製品とサービスを提供」することをものづくりの原則に掲げ、市場動向と顧客ニーズの変化をタイムリーかつ的確に捉え、常識に左右されない挑戦心と独創的な発想で製品開発を進めています。

なお、研究開発段階においては、環境上の課題に対する予防的アプローチを支持し、燃費向上や製品の長寿命化など、早期に対策を講じることで環境に対するマイナスのインパクトを軽減、防止、最小化する製品・サービスの開発を続けています。

製品の品質、安全に関しては、ISO9001およびIATF16949(旧ISO/TS16949)をベースとした品質マネジメントシステムを運用し、予知予見によるリスク対策を講じています。なお、当社グループは全ての製造拠点でISO9001を取得しています。また、製品の安全に関する基本理念と行動基準を「TOYO TIREグループ製品安全憲章」に明示しています。

目標

品質向上目標として、材料購入時から、製品をお客さまへお届けするまでの物流を含めた製品企画段階、生産移行準備段階まで、各プロセスにおいて品質リスク分析(品質企画、品質設計)を実施し、研究開発プロジェクトへ分析結果を確実に反映します。

また、お客さまからのご意見をもとに、常に顧客満足度を意識して品質状況の把握に努めます。さらに、品質保証部門と製造・販売・技術部門等との協働により、さらなる高品質製品への改善に努め、国内外のグループ会社間の人的交流を通じてさまざまな視点からの現状課題の改善を進めます。

製品・サービスを通じた環境・社会課題の解決目標として、全ての製品開発において環境性や安全性など機能性の向上を図ります。そして、これらの技術革新を支える人材育成、人的交流(研究、技術)を推進します。

責任 (2020年4月現在)

【研究開発】

技術統括部門管掌執行役員

【生産技術】

生産統括部門管掌執行役員

【製品・サービスの提供】

販売統括部門管掌執行役員

【品質保証】

品質環境安全統括部門管掌常務執行役員